

鹿児島県高等学校バレーボール競技大会における感染防止ガイドライン

1 競技運営上の感染防止対策

- (1) 試合前に、使用する用具の消毒を十分に実施する。
- (2) 試合時間を設定し、用具などの消毒や会場の換気などの時間を十分に確保する。
- (3) 試合前後の挨拶は握手を控え、一礼にとどめる。
- (4) 試合中の円陣やベンチでの集合時、できるだけ密集・接触を避ける。
- (5) 競技中のハイタッチなどの接触はできるだけ避ける。
- (6) ウォーミングアップゾーンの生徒はマスクを着用する。
- (7) ウォーミングアップゾーンでの声援などは行わない。
- (8) ベンチスタッフは適切な距離を保つ。
- (9) 監督はマスクを着用する。
- (10) コートオフィシャルの筆記用具は、各チームで準備する。
- (11) 審判のホイッスルはマスクやホイッスルカバーなどの飛沫対策を十分に行う。
- (12) 競技終了後はそれぞれのチームでベンチの消毒を行ってから退出する。

2 会場の感染症予防対策

- (1) それぞれの競技会場が示す入場可能人数に従い、入場人数の制限を行う。
- (2) 会場のコートレイアウトを最大3面とする。
- (3) 更衣室は密にならないように、試合があるチームの使用のみにとどめる。
- (4) 会場内での飲食は必要最低限にとどめる。
- (5) 試合前後に換気を実施する。

3 観客の入場制限及びその対応

- (1) 観戦は保護者（両親・祖父母・兄弟）のみとし一般・卒業生などの観戦は不可とする。
- (2) 観戦方法は拍手のみとし、大声での声援などは禁止する。
- (3) 太鼓などの鳴り物、音源などの使用は禁止する。
- (4) 入場の際は別途定める入場者名簿の提出を行う。
- (5) 入場者数はコート面数に応じて設定する。

※現時点では前回大会の実績を踏まえて、大会1日目20名、大会2日目以降は40名を上限とする。ただし感染状況や会場の人数制限の変更によりこの通りにならないこともある。

- (6) 入場の際は検温ならびにアルコール消毒を実施し、会場内では必ずマスクを着用する。